

自然

保育園番号 66-0959

園名 うめのき保育園

《テーマ》

自然

《テーマの設定理由》

- ・自分を取り巻く自然の中で遊び、五感を使い、自然の美しさや楽しさに気づく。
- ・友達との共通体験を通して、仲間関係の幅が広がったり、自分や相手の感じ方を交わす事で自分理解・相手理解に繋げる。

《スケジュール》

12月～1月

2歳児クラスの戸外遊びの実践。

《探究活動の実践》

園庭での砂場遊び。

砂場で泥団子づくり。サラサラで気持ちがいけれど、お団子にするには崩れてしまう…。ぎゅっとにぎってみたり、逆に柔らかく握ったり、量を加減してみたりと様々に試していました。その日は時間切れ。数日、試行錯誤しながらお団子づくりを繰り返す。前日が雨だった日、いつもと同じようにお団子を作ると、砂がまとまりお団子になりとても嬉しそうにしていました。

翌日、そんな様子を見ていた女の子が、私も作りたい！

とお団子を何個も作りました。そして、お団子の上にお団子を重ね、「ゆきだるまみたい。」と一言。

「かわいいね。どうやって作ったの?」、「〇〇もやりたい。」と、お団子づくりを通して、子どもたちで伝えあう姿が見られました。

同じ砂場での山作り。12月始めまでは、崩れない高い山を作るにはどうしたら良いかで試行錯誤することも多かったですが、回数を重ね、高くて崩れない山を作れるようになってくると、「穴を掘ってトンネルを作ろうよ。」とトンネル作りに挑戦をする子どもたち。まずは手で掘ってみる→なかなか貫通せず→皆で掘ってみる→いろいろな方向から掘るので、やはり貫通せず→でも掘り続ける→「あっ、手がぶつかった!」と大喜びのこどもたちでした。その後、数日に渡り、トンネル作りや電車の玩具を組み合わせて走らせるという遊びが続きました。

自分が動く事で影の大きさが変わる面白さを友達と楽しんでみたり、園庭にあるバケツをひっくり返して、シャベルをドラムのばちに見立てて、「ドラムだよ〜。」と再現したりと、自然を自分の身体で感じたり、様々な素材を使用して、自分の経験した事を、見立て、再現する姿も見られました。

園庭遊びだけではなく、近隣の公園にお散歩に行く事で、保育園では経験できない自然に触れる事も出来ます。

近くの森に行って、落ち葉の上を歩いてみたり、触ったり、集めたり、ちぎったり、集めて”一斉一のせ!”でばらまいたりと楽しみました。子どもたちからは、また行きたいねの声も上がりました。翌日の園庭遊びでは、ちらほら落ちている葉っぱを見つけて、「保育園の葉っぱはちょっとだね。」なんていう会話も聞かれました。

《保育士の気づき》

乳児なので、1つの遊びで長期の活動は難しいが、五感で感じた体験が子どもの中に、“やりたい、もっと追求したい”という興味として残り、探求する姿に繋がるのかと感じた。2歳児クラスになると、一人で没頭する姿や、友達とやり取りを交わしながら活動を楽しむ様子が見られた。どちらの姿も大切にしたいと感じた。

